

海外派遣留学生
留学報告書
韓国・国民大学

学部学科・研究科専攻	国際学部 国際学科		留学時学年	3 年
留 学 先	国	韓国	大学/機関	国民大学
期 間	2025年2月26日 ~ 2025年8月25日			
	中期		計6ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9 時～10 時半		○	○		Free	Free	Free
10 時半～12 時	○	○	○	○	Free	Free	Free
12 時～13 時半		○		○	Free	Free	Free
13 時半～15 時				○	Free	Free	Free
15 時～16 時半	○		○		Free	Free	Free
9 時～12 時 50 分	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

地域専門家日本語会話 YAMADA NAOYUKI 先生

→20 人ほど。日本人は私のみでした。日本語で授業が進むため、全体的にレベルの高い学生が多かったです。20 のシチュエーションに分けて、それぞれの場面で使う日本語会話を暗唱や単語の入れ替え等しながら学びました。

地域専門家日本語 김현욱先生

→20 人ほど。日本人は私のみでした。JLPT N3 を目指す学生のための事業で、先生がスライドを使用しながら 4 技能がバランスよく伸びるよう、話す、聞く機会も多かったです。

日本語と文化 김현욱先生

→15 人ほど。日本人は 2 人でした。1 年生向けの授業で、ひらがな、カタカナの学習もしながら、簡単な日本語の単語や挨拶を学びました。地域専門家日本語と同様、スライドを使用しながら 4 技能がバランスよく伸びるよう、話す、聞く機会の多い授業でした。

日本学テキストの理解 호리야마 아키코先生

→20人ほど。日本人は私のみでした。日本語の本を読みながら、韓流ブームについて学び、章ごと内容まとめ、ファクトチェック等を踏まえスライドを作成し、全員が発表しました。

現代日本の政治の理解 이원덕先生

→25人ほど。日本人は7人でした。スライドを使用し、学生が発言しながら先生が説明してくださいました。中間、期末試験に加え、ミニリサーチ、レポート、発表がありました。内容は難しいですが、先生が適宜日本語で説明してくださったので、内容理解に問題はありませんでした。

日本経済の理解 박창건先生

→30人ほど。日本人は4人でした。グループ討論、グループ発表、グループでのレポート作成等、グループワークが中心でした。スライド資料を使用し、それについて先生の補足説明を加えながら授業が進みました。日本人のいるグループは、先生が日本語の得意な学生を入れてくださったので、討論やレポート作成等、グループ活動の際はとても助かりました。

語学堂

→9時から50分ずつ、4コマの授業があり、1週間で2単元ずつ進みました。単語テスト、暗唱のテスト等、毎日テストがあり、毎週金曜日には単元テストがあり、中間、期末テストがありました。文化体験でロッテワールドにも行きました。自分のレベルに合った授業で、文法や単語力が特に伸びたと感じています。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

ゆいというサークルに入り、時々ではありましたが、漢江やザ・現代ソウルに行ったり、かき氷作り等の活動がありました。日本語を勉強する韓国人学生と交流もできるため、とても面白かったです。週末は友人と出かけることが多く、観光ではいけない場所にたくさん連れて行ってもらいました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

授業をしていた북안관という建物で友人と話したり、ご飯を食べたり、授業以外でも頻繁に利用しました。図書館で放課後や時間のある時に勉強することがありました。また、学外にあるカフェは遅い時間まで営業をしている場所がほとんどなので、中間試験、期末試験の際によく利用しました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋 4人で使用

様子：4人それぞれの生活スタイルだったため、互いに気を配りながらも自由に生活していました。寮生共同の冷蔵庫や電子レンジ、運動器具等があったため、部屋以外の場所でも配慮が必要でした。自分一人の時間の確保が難しかったため、その部分が大変でした。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと**：現地の学生と交流したことが一番の思い出です。放課後や休日に会って食堂やカフェに行ったり、漫画カフェや、ゲームカフェ、動物園、水族館等、本当にたくさんの場所に連れて行ってもらいました。出前を頼んで学校で食べたことは初めての経験で印象に残っています。コンビニの飲み物1つですらも新鮮で、美味しいもの、有名なもの等、たくさん教えてもらいました。現地の大学に実際に通い、韓国人の学生と

じ授業を受け、お互いの言語を教え合ったことも、語学堂で多国籍の友人ができたことも、半年間の日々の全てが大切な思い出で、貴重な経験です。

- **苦労したこと：**言葉の壁と、食事です。自分で韓国語を話そうとするとうまく言葉が出て来ず、たくさん間違えました。交流した韓国人は日本語が上手な方が多かったので、教えてもらったり、話し終わるまで聞いてくれたりしてくれたので、間違いを恐れず話すことができました。食事は、辛い食べ物、油を多く使う料理が多く、5月ごろからは適応したのかそのようなことはありませんでしたが、特に3月は体調が優れない日が続きました。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) **語学力の向上：**単語力や文法は飛躍的に伸びたとは言いきれませんが、韓国語を話すことに慣れ、「通じる」という経験を積み、韓国語を話すことに対する恐怖心が減りました。
- 2) **専門知識の向上：**日本語の授業では、日本語教育の授業を東海大学で履修したことがあり、どのように日本語を学ぶのか、韓国人にとって日本語はどのような部分を難しいと感じるのか等、勉強になりました。また、経済や政治の授業では、外国から見る日本の姿がどのように映っているのかを肌で感じ、また別の視点から日本を見るきっかけとなりました。
- 3) **自己成長など：**半年間、一人暮らしをしたことがない私が外国人登録証や VISA の手続きや、生活のすべてを外国で、一人で管理するということが自分の大きな成長につながったと感じています。近いとはいえ、言葉も文化も違う場所で生活することは大変な部分が多くありましたが、現地の方の温かさに支えられながら、楽しく、充実した時間を過ごすことができました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

食事や言語、文化等、大変だと感じる部分は人それぞれだと思いますが、学生と交流することが、一番の思い出になると感じています。一人で頑張ろうとせず、周りの助けをもらいながら時間を大切に過ごすことが大切だと感じています。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	往復 4万円
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	13万円
4	教材費		1万円
5	保険代		0
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		30万円
7	個人的な買い物		20万円
8	その他(交際費)		20万円
9	留学に関する費用(1から8の合計)		88万5千円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		0
11	留学に関する費用総額(上記9から10を引いた額)		88万円



